

**【取組内容1】 タブレット型端末初期指導プログラム「はじめのいっぽ（仮）」について****開発の経緯****【ICTを活用した授業の課題】**

ICTを活用した授業において、タイピングに難があるために、自分の考えを表現できなかつたり、思考にまで至らなかつたりという課題がある。またCBT形式での試験においてタイピングで躓き実力を発揮できないということもある。

**【浜松市の現状の課題】**

学校、あるいは学年・学級によって、タイピング練習を始める学年・時期、タイピング練習の頻度等に差があり、子供たちのタイピング技能の差につながっている。結果、年度が替わるごとに、また1からタイピング指導を行ったり、低い技能の子に合わせた授業を行わざるを得ない状況が生じたりすることになり、これがICTを活用した授業の推進を阻害する一要因となっている。

**【「はままつタイピングメソッド(仮)」開発の理由とねらい】**

小学校低学年の児童は、ローマ字を学習していなくても、英文字を図として認識できることから、小学校3年生から一般のタイピング練習ソフトを使って自主的に力をつけていくことができるよう、小学校低学年で段階的にタイピングの力を育成できる「はままつタイピングメソッド(仮)」を開発した。

これにより、タイピング技能向上の下支えを行い、タイピング技能差の縮小と技能の向上を目指すことで、ICTを活用した授業の推進を図る。

## 【取組内容1】 タブレット型端末初期指導プログラム 「はじめのいっぽ（仮）」 ①ログイン

## 【事前準備】

- ・児童1人1人に「アカウントカード(アカウントとパスワードが書かれた用紙)」を配付できるよう、準備しておく
- ・タブレット端末(保管庫)を教室内に移動しておく

1

## タブレット型端末貸与式



2

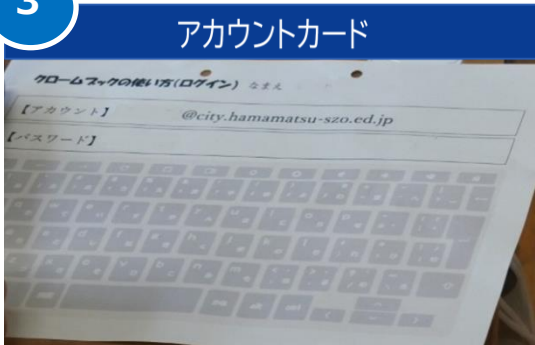
## はこぶときは あかちゃんだっこ



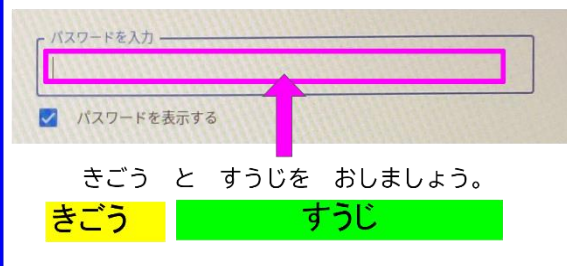
- ①タブレット型端末貸与式を行い、1人1人に声掛けをすることで、タブレット型端末を大切にしようという心情を育てます。
- ②タブレット型端末を運ぶときは、あかちゃんだっこをします。片方の手の平でタブレットの底を支え、もう片方の手で抱きかかえます。
- ③アカウントカードには、大切なパスワードがあります。他の人に見せないようにします。

3

## アカウントカード



## ぱすわあどを いれましょう



4

ログインでき  
た!

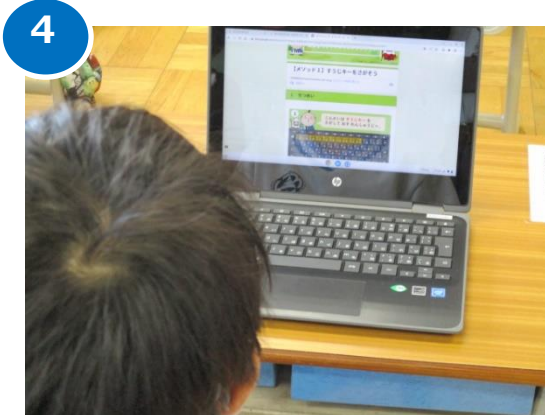
【取組内容2】 タブレット型端末初期指導プログラム 「はじめのいっぽ（仮）」 ②タイピング



本時は、端末のキーボードに慣れることがめあてです。



浜松市の児童生徒用ポータルサイトから、タイピング練習専用サイトの『はままつタイピングメソッド(仮)』に入ります。本時は数字キーと文字キーを探す活動を行います。



サイト上で活動内容の確認と練習をします。(Googleフォーム)



自然と  
両手打ちに  
なる子↓



活動の確認・練習をしたら、腕試し用のタイピングアプリで実際にキーボード入力を行います。表示された文字が、キーボードのどこにあるか、確かめます。入力速度の結果がランク表示されるので、競い合ってみんなで楽しく活動することができます。



## 【取組内容3】 外部専門家によるオンライン授業の実施（5年社会科）

## 概要

北海道士別市の酪農家とオンラインで結び、畜産業を行う中での生産者の工夫や努力について直接見たり聞いたりした。気になったことや疑問に感じたことを酪農家に質問したり、酪農家の畜産業への思いを自分の言葉でまとめたりした。

## 展開

## ① 学習を振り返る

前時までに学んだ「酪農家が気を付けていること」を全体で確認する

## ②「乳牛を育てる酪農家の一日」の動画視聴

酪農作業の工夫や努力を知る

## ③ 質問、疑問、感想の発表

事前に考えた質問や動画の視聴により気付いたことを発表する

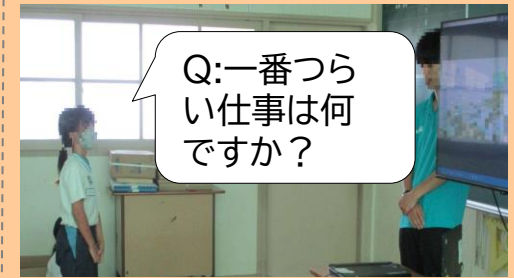
## ④ 感謝の気持ちを伝える

## ②動画視聴



こんな工夫  
をしている  
んだね。

## ③質問の様子



Q:一番つらい  
仕事は何  
ですか？

A:死んでしまった  
牛とお別れする仕  
事のときです。



## ふりかえり

ごほうとわなしいんせね。思った、早くから仕事  
してくれているのを知ってありがたみを感じていたのだら  
う。牛についてほくも興味をもった。

## まとめ

牛を家族として迎え入れている酪農家の気持ちについて深く考えることができた。  
酪農家の苦勞を知り、食に関することへ感謝の気持ちをもつことができた。

## 【取組内容4】 端末の持ち帰りによる家庭学習の提出と見届け

## 概要

長期休暇中に端末の持ち帰りを行うことで、家庭学習の提出と見届けをし、家庭において端末を学習で活用する習慣を身に付けさせた。

## 取組内容

## 課題の投稿



Googleクラスルームに夏休みの課題を投稿し、児童が家庭でいつでも確認できるようにした。

## 学習状況の把握



期間を決めて学習の成果や生活の様子などを動画や画像で提出させた。

## 生活の振り返り



一言日記を書くことで児童の生活や学習を振り返る手段とした。

## まとめ

一言日記を活用することで、毎日端末を開く習慣が身に付いた。自分の生活や学習について見通しを立てたり、振り返ったりするよい機会となった。夏休み後も端末の持ち帰りを継続しており、家庭で端末を学習で利用する習慣が身に付くきっかけとなった。学習記録や先生へのメッセージを動画にして提出させたことで、夏休み期間中でも児童の学習状況を把握したり生活を見守ったりすることができた。